



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイト株式会社
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,610	△28.0	△1,640	—	△1,595	—	△1,666	—
2020年3月期第1四半期	18,911	△1.1	305	182.9	412	147.5	303	200.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,670百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 303百万円 (198.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△33.78	—
2020年3月期第1四半期	6.22	6.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	29,134	10,412	35.7	211.06
2020年3月期	28,926	12,082	41.8	244.83

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 10,412百万円 2020年3月期 12,077百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,817	△5.3	355	△66.4	397	△74.0	417	—	8.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2020年8月7日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	49,414,578株	2020年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	82,048株	2020年3月期	82,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	49,332,530株	2020年3月期1Q	48,823,168株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大のため輸出が大幅に減少し、また国内消費も4月に発令された緊急事態宣言によって不要不急の外出や営業活動の自粛が一段と高まったことから大きく落ち込みました。このため雇用情勢は深刻な人手不足から一転して「人余り」となりました。5月に緊急事態宣言が解除されたものの、新しい生活様式に基づく消費習慣や新型コロナウイルスの感染症拡大第2波の懸念などから経済活動の回復の足取りは鈍いままとなっております。

外食産業におきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大のため営業店舗の休業や営業時間の短縮を余儀なくされました。緊急事態宣言解除後も、ソーシャルディスタンス（社会的距離）を保つため客席数を減らしており、また外出自粛やグループによる会食を敬遠する動きが収まらないことから来店客数の減少に見舞われております。ランチメニューの拡充やテイクアウトの強化などに取り組んでいるものの、中食との競合が一層激化することになり厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力事業である回転寿司事業におきましては、より魅力的かつ付加価値の高いメニュー・商品の開発・販売を基盤とし、店舗オペレーションの一層の強化と新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして全店舗従業員への体温測定を含めた毎日の健康チェックの実施、マスク着用の徹底、アルコール消毒や消毒液の設置、ソーシャルディスタンス（社会的距離）の徹底などの感染予防対策を通じて既存顧客の満足度や安心感の向上と新規顧客の獲得に努めてまいりましたが、政府による緊急事態宣言や各自治体による外出自粛要請等を受け、一部店舗の臨時休業や営業時間短縮を実施し、また、不要不急の外出自粛による来店客数の激減により売上高は前年同期を大幅に下回る結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は136億10百万円（前年同四半期比28.0%減）、営業損失は16億40百万円（前年同四半期は営業利益3億5百万円）、経常損失は15億95百万円（前年同四半期は経常利益4億12百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は16億66百万円（前年同期は親会社に帰属する四半期純利益3億3百万円）となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

<回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部店舗の臨時休業や営業時間短縮の中、新しい季節の始まりに目玉商品「焼津港水揚げ一本釣りとろかつお」、バイヤーが厳選して買い付けたみなみ鮪の「春味くらべフェア」を実施し、より希少性や限定感のある商品を提供してまいりました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により来店客数が減少する中、ステイホームによる巣ごも消費の需要増加に対応すべく、テイクアウトやデリバリーサービスの商品やサービスを充実させた結果、テイクアウト等の売上高は順調に増加いたしました。「店内のおいしさをご自宅で」という思いから今後も様々な場所で楽しんでいただけるようなメニューの開発を進めてまいります。

店舗オペレーションにおきましては、引き続き商品・サービスのクオリティ向上を最優先としながら商品提供時間やウェイティング・タイムの短縮に向けた活動を強化し、不満足要因の排除とお客様満足度の持続的な向上に継続して取り組むと共に、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組みとして、全店舗従業員への体温測定を含めた毎日の健康チェックの実施、マスク着用の徹底、アルコール消毒や消毒液の設置、ソーシャルディスタンス（社会的距離）の徹底など、お客様が安全・安心して食事を楽しめる環境を提供してまいりました。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は、108億54百万円（前年同四半期比31.6%減）となりました。

<デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大、既存顧客の販売強化及びコスト構造の見直しに取り組んでおります。

以上の結果、デリカ事業の売上高は27億96百万円（前年同四半期比10.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結累計期間における総資産は291億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が4億50百万円増加、売掛金が1億11百万円減少、敷金及び保証金が97百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結累計期間における総負債は187億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億78百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が91百万円減少、短期借入金が20億円増加、賞与引当金が1億円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結累計期間における純資産は104億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億70百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失16億66百万円により利益剰余金が減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日(2020年8月7日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

尚、今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,941	6,391
売掛金	2,512	2,400
商品及び製品	347	306
原材料及び貯蔵品	287	341
その他	939	684
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	10,028	10,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,426	27,563
機械装置及び運搬具	5,153	5,219
工具、器具及び備品	6,036	6,336
土地	2,355	2,355
リース資産	1,754	1,694
建設仮勘定	124	177
減価償却累計額	△30,300	△30,537
有形固定資産合計	12,551	12,809
無形固定資産	358	338
投資その他の資産		
投資有価証券	849	850
敷金及び保証金	4,817	4,720
繰延税金資産	36	36
その他	213	190
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	5,907	5,788
固定資産合計	18,816	18,936
繰延資産		
社債発行費	81	74
繰延資産合計	81	74
資産合計	28,926	29,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,802	2,711
短期借入金	—	2,000
1年内償還予定の社債	1,490	1,490
未払金	1,944	1,991
未払費用	1,513	1,615
リース債務	164	167
未払法人税等	438	114
賞与引当金	232	132
株主優待引当金	118	374
店舗閉鎖損失引当金	258	258
その他	1,153	979
流動負債合計	10,116	11,835
固定負債		
社債	3,005	3,005
長期未払金	1,970	2,169
リース債務	194	137
資産除去債務	1,404	1,434
繰延税金負債	0	0
その他	151	141
固定負債合計	6,727	6,887
負債合計	16,844	18,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	2,527	2,527
利益剰余金	△167	△1,834
自己株式	△77	△77
株主資本合計	12,082	10,415
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△3
その他の包括利益累計額合計	△4	△3
非支配株主持分	4	—
純資産合計	12,082	10,412
負債純資産合計	28,926	29,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	18,911	13,610
売上原価	9,013	6,806
売上総利益	9,897	6,803
販売費及び一般管理費	9,592	8,443
営業利益又は営業損失(△)	305	△1,640
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	35	35
受取家賃	61	60
自動販売機収入	11	7
協賛金収入	60	8
雑収入	5	6
営業外収益合計	186	128
営業外費用		
支払利息	8	10
社債利息	7	8
賃貸収入原価	53	52
雑損失	9	12
営業外費用合計	79	83
経常利益又は経常損失(△)	412	△1,595
特別損失		
固定資産除却損	40	17
臨時休業等による損失	—	12
特別損失合計	40	30
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	371	△1,625
法人税、住民税及び事業税	66	45
法人税等合計	66	45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	305	△1,670
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	303	△1,666

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	305	△1,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
その他の包括利益合計	△1	0
四半期包括利益	303	△1,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	301	△1,665
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。